

[86]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2339165>

出版情報：文學研究. 86, 1989-02-28. Faculty of Literature, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

彙報

教官人事

稲田俊明助教授（英語学英文学第一）

昭和六十三年四月一日教養部より着任された。

ロバート・キャンベル講師（国語学国文学第一）

昭和六十三年四月一日着任された。

李文初教師（中国文学）

昭和六十三年四月七日着任された。

文学科講義題目

昭和六十三年度第一期講義題目（昭和六十三年四月～九月）

国語学

特講 国語史の諸問題

追野 助教授

演習 中世語研究

〃 国語史資料研究

特研 国語表記史の研究

特講 院政鎌倉期の語彙と文体（熊本大学）

臨講 方言学

（東北大学） 加藤 教授

国文学

特講 享保の学芸

中野 教授

演習 西鶴

〃 前期滑稽本

特研 近世文学の諸問題

特講 源氏物語注釈

演習 蜻蛉日記

〃 物語の表現

特研 平安朝文学の諸問題

特講 幕末文人の研究

演習 日本語学演習①

演習 日本語学演習②

特講 芥川龍之介と大正時代

中国語学

演習 漢字学

〃 元曲研究

中国文学

特講 楊貴妃伝説の発生と展開

演習 杜詩詳註

〃 四庫全書総目（清人文集）

〃 先秦兩漢文学史

〃 古代詩歌鑑賞

〃 中国近現代文学研究（言語文化部）

特研 中国語学・中国文学の諸問題

漢魏六朝文学研究（福岡大学）

英語学

演習 The Stylistics of Present English

〃

〃

今西 助教授

〃

〃

キャンベル講師

〃

〃

海老井 教授

（教養部）

李 教師

漢字学

元曲研究

中国文学

楊貴妃伝説の発生と展開

杜詩詳註

四庫全書総目（清人文集）

先秦兩漢文学史

古代詩歌鑑賞

中国近現代文学研究（言語文化部）

中国語学・中国文学の諸問題

漢魏六朝文学研究（福岡大学）

英語学

The Stylistics of Present English

デュアメメル「真夜中の告白」

特講 「バルザックの登場人物」

特研

演習 十七世紀演劇

アベ・プレヴォー「マノン・レスコー」

ゾラ実験小説論

サント「コンシユエロ」

〃

〃 二十世紀批評

言語学

講義 言語学概論(統講)

演習 意味論

〃 現代へブライ語(統講)

〃 言語の記述

特研

特講 形態論(統講)

演習 音韻論(統講)

〃 言語学の諸問題

〃 理論言語学

特研

演習 方言研究の方法

昭和六十三年度第二学期講義題目

(昭和六十三年十月〜平成元年三月)

国語学

特講 国語学要論

演習 平曲

〃 国語学の諸問題

特研 方言国語史

特講 国語史の諸問題

演習 中世語研究

〃 国語史資料研究

特研 国語表記史の研究

特講

国文学

特講 享保の学芸

演習 西鶴

〃 前期滑稽本

特研 近世文学の諸問題

特講 幕末文人の研究

演習 日本語学演習①

〃 日本語学演習②

特講 芥川龍之介と大正時代

特講 平安朝文学と婚姻制度

特講 書道(平安時代の書)

奥村教授

〃

〃

〃

迫野助教授

〃

〃

杉村助教授

〃

中野教授

〃

〃

〃

キャンベル講師

〃

〃

海老井教授

〃

工藤助教授

(福岡教育大学)

(福岡教育大学) 山田 助教

臨講 歌舞伎台本の研究—文学と舞台 郡司 講師

中国語学

漢字学 李 教師

元曲研究 (佐賀大学) 高橋 助教

中国文学

特講 楊貴妃伝説の発生と展開 竹村 助教

杜詩詳註 ” ”

四庫全書総目(清人文集) ” ”

先秦兩漢文学史 李 教師

古代詩歌鑑賞 ” ”

中国近現代文学研究 (言語文化部) 秋吉 教授

漢魏六朝文学研究 (福岡大学) 松浦 助教

中国語学・中国文学の諸問題 竹村 助教

英語学

英語学概論 稲田 助教

英作文 ピュー 教師

英会話 ” ”

英会話 リード 教師

The Making of Modern English ” ”

Chaucer の英語と文体 (言語文化部) 真鍋 教授

N. Chomsky, Knowledge of Language 稲田 助教

英語学の諸問題と生成文法研究 ” ”

特研

英文学

演習 D. H. Lawrence, Sons and Lovers リード 教師

Edmund Spenser ” ”

Shakespeare, As You Like It (福岡大学) 柴田 教授

E. M. Forster & D. H. Lawrence ” ”

W. Blake (言語文化部) 吉田 教授

Modern English Poetry 園井 教授

John Milton ” ”

米文学 ” ”

20 th Century Literary Theory ビュー 教師

Brooks and Warren, Understanding Poetry ” ”

アメリカロマン派詩 (言語文化部) 小野 教授

N. Hawthorne 原口 助教

N. Hawthorne ” ”

Contemporary Southern Authors ” ”

アメリカ研究演習 (フルブライト) ジョーンズ 教授

独語学 ” ”

初級独語会話 A オオコウチ 教師

初級独語会話 B ” ”

中級独語会話 ” ”

中級独語会話 ” ”

中級独語会話 ” ”

中級独語会話 ” ”

中級独語会話 ” ”

独訳演習 (福岡女子大) 恒吉 教授

独文学

特講 18世紀の小説(6) 伊藤 教授

演習 Moritz 研究

講読 現代文学

特研 Kolloquium

演習 Literatur der Moderne オオコウチ教師

カフカ研究 (教養部) 有村 教授

啓蒙初期ドイツ文学研究(1)―シュナーベル― (福岡大学) 稲元 教授

臨講 ウィーン方言―その音韻法則そしてウィーン逸話、

シュニツラーの『輪舞』― (愛媛大学) 土屋 教授

ロマン主義文学理論の諸問題 (京都大学) 相良 教授

仏語学

演習 フランス語会話 ブーヴィエ教師

〃 Dissertation

〃 翻訳仏文法 (教養部) 高藤 教授

〃 仏文学

演習 グラック「読みながら書きながら」 西岡 教授

〃 バルザック「フランドルのイエス・キリスト」

〃 ジッド「放蕩息子の帰還」

特講 「バルザックの登場人物」

特研 十八世紀演劇

演習 ラクロ「危険な関係」 〃

〃 モーパッサン小説論 (熊本大学) 常岡 教授

〃 サンド「コンシュエロ」 (九州産業大学) 持田 教授

〃 二十世紀批評 (教養部) 森 助教

〃 言語学

特講 旧約テクストの歴史と構造 松田 教授

演習 意味論(統講)

〃 現代ヘブライ語(統講)

〃 言語の記述

特研 音声学 早田 助教

〃 音韻論

〃 理論言語学

〃 言語学の諸問題

特研 方言研究の方法(統講)

演習 (言語文化部) 陣内 助教

〃 講義 意味論 (東京大学) 池上 教授

〃 チベットの語学 (麗澤大学) 北村 教授

学会・研究室行事

国語学国文学関係

○九州大学国語国文学会（昭和63年6月5日）

『平家物語』の人物像―研究方法の面を中心に―

小川秀雄の初期作品について	奥村和子
対立する他動詞をもつ自動詞の使役	竹内昭彦
和韓唱酬小攷	夏 茜
島野浦島の方言アクセント	高橋昌彦
日本語とインドネシア語の対照	坂口 至
藤原為光考	田尻英三
「ふるものがたり」考	福井迪子
東條琴台伝考	今西祐一郎
	ロバート キャンベル

○第37回西日本国語国文学会

（於梅光女学院大学 昭和63年9月23日～24日）

《研究発表》

『怪談名香富貴玉』再考―明和期における怪談集の動向―

田中葉子

「宰相中将」か「在五中将」か―『狭衣物語』異文考―

後藤康文

「ヌ（シ）ケレバ」「ヌ（シ）ケレドモ」の消長

赤峯裕子

二型アクセントにおける助詞・助動詞のアクセントについて
―長崎県加津佐方言を中心に― 木部 暢子

《公開講演》

「見るべき程の事は見つ」考

笠 栄治

○国語学国文学公開講演会

（於文学部会議室 昭和63年11月17日）

日本漢文と朝鮮漢文 福岡大学教授 藤井茂利氏

風流と見立 早稲田大学名誉教授 郡司正勝氏

○「語文研究」第65号（昭和63年6月発行）

古代日本語のアクセントに関する一報告

―金田一法則の例外について― 内山 弘

「テナイル」と「テナアル」 山下 和弘

暮鳥と前衛絵画 ―イマジズムと絵面試論―

井上 洋子

応和二年五月の贈答歌

後藤 康文

―『蜻蛉日記』66・67・68・70番歌の解釈―

今井 源衛

「和独対訳辞林」に於ける見出し・同義語表示部の検討

―「和英語林集成」を交えて― 坂本 浩一

《紹介》

平安朝漢文学研究会編『平安朝漢文学総合索引』（今西祐一郎）、中野三敏著『江戸名物評判記案内』（中野三敏編）江

戸名物評判記集成（宮崎修多、板坂耀子編）『江戸温泉紀行』（久保田啓一）、横山正『近世演劇攷』（橘英哲、福井迪子著）『一条朝文壇の研究』（工藤重矩、今井源衛著）『源氏物語の思念』（田坂憲二）、田尻龍正著『芭蕉論集』（白石梯三）、五所美子著『歌人上田秋成』（飯倉洋一）、田坂憲二・田坂順子編著『藤原義孝集 本文・索引と研究』（福井迪子）

○「文献探究」21号（昭和63年3月発行）

「鼻」論——「羅生門」を媒介として—— 下野孝文
 瀧亭鯉丈の文学 大内保宏
 夏目漱石作品中における「まだくはない」について 赤峯裕子

「思ひ出」一章（下）——太宰治私注・稿—— 花田俊典
 『蜻蛉日記』注釈余滴（一） 今西祐一郎

資料 山之口貌——新資料および初出本文紹介——

蔵書目その十三 邦人詩文集總集その二 松下博文
 撥音・促音・長音のモーラ化の時期について 中野三敏
 坂口 至

鹿兒島方言外来語彙のアクセント 崎村弘文

方言使用に対する規範意識の実態・統攷 山県 浩
 — 回答者の属性との関連性 —

九州北部の可能表現 木部 暢子

○「文献探究」22号（昭和63年9月発行）

都市を描く

『蜻蛉日記』注釈余滴（二）

『狭衣物語』作中歌の背景（二）

蔵書目その十三 邦人詩文集總集 補訂

「思ひ出」一章——太宰治私注・稿——

資料 山之口貌——「自分のこと・淵のこと」——

板坂耀子
 今西祐一郎
 後藤康文
 中野三敏
 花田俊典
 松下博文

中国文学関係

○中国文芸座談会

第110回（昭和62年11月29日）

上古後期漢語、魯方言に於ける指示詞の体系について

——指示三分認識と指別、代替作用を中心に——

西山 猛

呉濁流文学論——日本語教育の与えた傷痕について——

黄 慧 璘

第111回（昭和63年1月31日）

王昌齡詩の特質について

李清照詞論——雅俗についての一考察——

三国志演義の女性像

巴金の「家」について——「家」制度崩壊期の青年像——

小島 薫
 正木 佐枝子
 岡村 真寿美
 森 晶子

第112回（昭和63年4月29日）

『白石道人歌曲』の旋律

明木 茂夫

「宮体」詩の実体について

—「宮体」詩艶詩説への疑問—

第113回（昭和63年6月26日）

白居易における杜甫詩の受容

南北朝末期における文学の動向

第114回（昭和63年9月11日）

上古漢語における指示認識の構造

—『孟子』を資料として—

「還魂記」における柳夢梅の設定について 根ヶ山 徹

○九州中国学会（昭和63年5月29日）於九州大学教養部）

「宮体」詩の実体について

—「宮体」詩艶詩説への疑問—

『白石道人歌曲』の旋律

○第40回日本中国学会（昭和63年10月9・10日）於大正大学）

「宮体」詩と『玉台新詠』

—「宮体」詩艶詩説への疑問—

『牡丹亭還魂記』における柳夢梅の設定

○日本英文学会第40回九州支部大会（昭和63年10月29日・30日）於大分大学）

『Macbeth』における対立 (antithesis)

「ガリヴァ旅行記」の統一性

詩人としてのボオ

Seymour Levin の二元性について

Done の詩の 'wit' に ついて

中筋 健吉

静永 健

岡村 繁

西山 猛

根ヶ山 徹

中筋 健吉

明木 茂夫

中筋 健吉

根ヶ山 徹

中筋 健吉

明木 茂夫

中筋 健吉

根ヶ山 徹

中筋 健吉

根ヶ山 徹

吉原 ゆかり

山内 暁彦

大城 房美

前田 譲治

中島 九代

中島 九代

中島 九代

中島 九代

As I Lay Dying における「言葉」と「行為」の分裂のテーマについて

Sutter's Pay における Donald Mahon の死について

「カンタベリ物語」における否定構文

— ne, ne... not の競合

冠詞と関係節

○九大英文学 (GALS 改題) 31号 (昭和63年12月)

Macbeth 試論—暴力とセクシュアリティ—

John Donne と Wit

—ウィットの歴史的返還とダンのウィット—

「ガリヴァ旅行記」における

語り手としてのガイヴァについて

—Lewis Carroll の作品を通して—

—愛の詩における言語表現について—

Emily Dickinson 試論

—「言葉」と「行為」の分裂のテーマについて—

Malamud の A New Life における創作姿勢について

—「言葉」と「行為」の分裂のテーマについて—

As I Lay Dying 試論

—「言葉」と「行為」の分裂のテーマについて—

Malamud の A New Life における創作姿勢について

—「言葉」と「行為」の分裂のテーマについて—

Malamud の A New Life における創作姿勢について

Malamud の A New Life における創作姿勢について

内田 智子

佐藤 泰子

古賀 恵介

吉原 ゆかり

中島 久代

山内 暁彦

宮原 一成

大城 房美

宮田 優子

佐藤 泰子

内田 智子

内田 智子

内田 智子

内田 智子

内田 智子

内田 智子

内田 智子

内田 智子

内田 智子

内田 智子

内田 智子

内田 智子

内田 智子

『ハーツォグ』における狂気としての〈思想〉

清田友則

"A Perfect Day for Bananafish"

—鏡の国の Seymour—

青井 格

冠詞論序説

指示構造から見たその基本的特質

古賀 恵介

The Utilization of Background

Knowledge in L2 Reading

赤司 裕子

独文学関係

○九州大学独文学会第二回総会・研究発表会

(昭和63年4月30日 於九大文学部会議室)

ドイツ語の開音と閉音について

行重 耕平

心態詞としての関心の三格

大野 克彦

ハイネの作品における食物の意義

岩本 真理子

Wilhelmine v. Sebaldus Nothaker

伊藤 利男

○日本独文学会第42回総会・春季研究発表会

(昭和63年5月17日・18日 於日本都市センター)

○「九州ドイツ文学」第2号 (昭和63年9月発行)

Ethischer Dativ について

大野 克彦

ハイネの作品における食物

岩本 真理子

『ブデンブローク家の人々』以前のトーマス・マン

—「ディレクタンティズム」をめぐる—

野口 達人

ヘッセの『デーミアン』について

竹岡 健一

—「悪はいずこから来るか」—

「告白」と「フォルム」

石橋 邦俊

—中期ヘッセの文学姿勢—

○日本独文学会秋季研究発表会

(昭和63年10月15日・16日 於熊本大学文学部)

再帰動詞について

大野 克彦

ハイネの「肉の復権」について

岩本 真理子

シンポジウム K. Ph. モーリッツ

司会 伊藤 利男

1. モーリッツと夢

松村 朋彦

2. モーリッツとユング・シュタイリング

新保 弼彬

3. モーリッツの芸術論

石村 喬

4. アントーン・ライザーのビルドゥングに関する

一考察

前田 智

仏文学関係

○Etudes de Langue et Littérature Françaises de l'Université de Kyushu, no 6

L'Harmonie universelle chez Gerard de Nerval Reiko MASE

Le Sujet en transformation chez V. Woolf (1882-1941) et

chez N. Sarraute (1900-) Kyoko SAITO

Autobiographie de Gide— autour du Diable Mizuno ASAKA

La Nature comme utopie chez Rousseau Yoshino KURIHARA

○第六回九州大学フランス語フランス文学研究会

(昭和六十三年七月十日 於九州大学文学部)

ルソーにおける幸福の特異性

栗原好郎

『トロピスム』における誇張表現について

斉藤恭子

ジードの自伝

安積みづの

初期セリヌの作家としてのアイデンティティについて

木下樹親

ネルヴァルのユートピア観

—レチフ・ド・ラ・ブルトンヌを通して—

間瀬玲子

La voix solitaire de Colette dans la Maison de Claudine

Akiko ONO

L'Egoisme dans l'Education sentimentale

—à travers le sentiment et la politique— Eri OHASHI

○一九八八年度日本フランス語フランス文学会九州支部会

(昭和六十三年十一月二十六日 於福岡大学)

ルソーにおける「人間」について

栗原好郎

『感情教育』における女性拒否

大橋絵理

『学校のクロデューヌ』—コレットの最初の小説について

小野晶子

言語学関係

○九大言語学研究室報告第9号 (昭和63年3月)

論文

満洲語文語における或る単語の単数と複数について

—『満文金瓶梅』の *ashian* と *ashinata*— 早田輝洋

中国語「重ね型単語」の形態と音韻現象

馮蘊澤

上甌島瀬上方言の人称代名詞

尾形佳助

長崎県福江市下崎山町方言における若干の音声について

有元光彦

錫伯語(満洲語口語)の若干の基礎語彙についての報告

久保智之

聖書ヘブライ語助詞 *dw. hik* の意味考察(2) 大里泰弘

卒業論文要旨(1988年1月提出)

博多方言の受与動詞

相川千草

名詞を修飾する数量詞について

江口正

児童における抽象概念の表現

大槻暁代

ディクテーションにおける誤り

清浦裕子

喜界島における親族名称について

高橋智子

人名からつくられる略称について

塚原由美子

敬語接頭辞「お」「ご」についての考察

符阪美行

—名詞に付く「お」「ご」の使い分け—

言語遊戯における同音異義について

ガとヲの交替

書きことばにおける文末表現

前川ゆり
松永由美
元永久美

○日本モンゴル学会春季大会

(昭和63年5月28日 於慶應義塾大学)

錫伯語(満洲語口語)の音韻論における若干の問題点につ

いて

○日本モンゴル学会秋季大会

(昭和63年11月26日 於九州大学)

錫伯語(滿洲語口語)の所有人称接辞について

久保智之

久保智之